

始良・伊佐地域 感染症情報

2018年第45週報 (11月5日～11月11日)

発行：始良・伊佐地域振興局保健福祉環境部 発行日：平成30年11月14日

注目情報

—首都圏を中心に全国的に風しん患者増加—

8月末から首都圏を中心に風しん患者が増加していますが、国立感染症研究所には第44週 1週間 (11月7日現在)で 192人の報告があり、今年の累積報告数は全国で1,884人となり、これは昨年1年間の20倍の報告数となります。報告された風しん患者は過去に感染したことが無く、ワクチン未接種の風しん抗体を保有していない人で、30才代～50才代男性が中心となっています。

本県でも今年になって2名の男性 (30才代・40才代) の患者報告がありました。

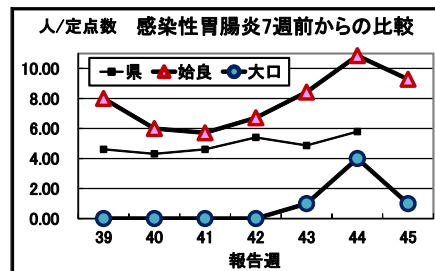
風しんはワクチン接種により予防可能な感染症です。妊婦さんと赤ちゃんを守るために成人男性も風しんの予防接種を検討しましょう。参照：国立感染症研HP (<https://www.niid.go.jp/niid/images/epi/rubella/181107/rubella181107.pdf>)

☆今週の主な感染症の動向

・ 感染性胃腸炎

始良保健所管内の感染性胃腸炎の報告数は、65人 (定点当たり9.29) で、前週より11人減少しました。

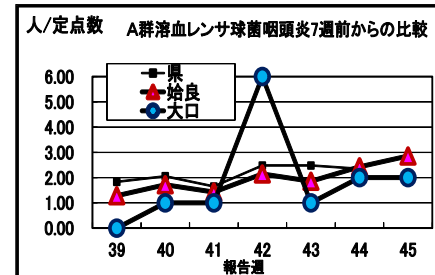
また、大口保健所管内からの報告数は1人で、前週より3人減少しました。



・ A群溶血性レンサ球菌咽頭炎

始良保健所管内のA群溶血性レンサ球菌咽頭炎の報告数は、20人 (定点当たり2.86) で、前週より3人増加しました。

また、大口保健所管内の報告数は2人で、前週と同数でした。



☆始良・伊佐地域の指定届出医療機関からの定点当たり報告数

定点報告疾患	警報基準値		注意報基準値	始良保健所管内推移				大口保健所管内推移				県全体
	開始基準値	終息基準値		42週	43週	44週	45週	42週	43週	44週	45週	
インフルエンザ	30.00	10.00	10.00	0.09	0.00	0.00	0.09	0.00	0.50	1.50	3.50	0.36
RSウイルス感染症	-	-	-	1.29	1.00	0.43	0.71	3.00	0.00	0.00	0.00	0.41
咽頭結膜熱	3.00	1.00	-	0.71	1.29	2.43	3.29	1.00	1.00	0.00	0.00	1.15
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	8.00	4.00	-	2.14	1.86	2.43	2.86	6.00	1.00	2.00	2.00	2.35
感染性胃腸炎	20.00	12.00	-	6.71	8.43	10.86	9.29	0.00	1.00	4.00	1.00	5.80
水痘	2.00	1.00	1.00	0.29	0.00	0.29	0.29	0.00	1.00	0.00	1.00	0.39
手足口病	5.00	2.00	-	0.86	0.14	0.29	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.09
伝染性紅斑	2.00	1.00	-	0.00	0.14	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.09
突発性発疹	-	-	-	0.57	1.29	1.14	0.43	0.00	0.00	1.00	0.00	0.59
ヘルパンギーナ	6.00	2.00	-	1.71	0.71	0.14	0.00	0.00	2.00	2.00	0.00	0.56
流行性耳下腺炎	6.00	2.00	3.00	0.29	1.14	0.29	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.30
出血性結膜炎	1.00	0.10	-	0.00	0.00	0.00	0.00					
流行性角結膜炎	8.00	4.00	-	0.00	1.00	3.00	0.00					2.29

※ 警報・注意報の「-」は対象としないことを意味します。
 ※ 警報域…太文字で赤色の網掛け部分、注意報域…斜体文字で黄色の網掛け部分